



Our Precision, Your Advantage

大和インベスター・リレーションズ主催 個人投資家向け説明会

2025年8月30日

カヤバ株式会社（証券コード：7242）



Our Precision, Your Advantage

会社概要



創業者・萱場資郎の言葉

「現用のあらゆるものは発達途中の、
過去のものであり、
世の中は常に新しいものを
求めて止まない」

社名	カヤバ株式会社 (2023年10月にKYB株式会社から改称)
創立	1935年3月10日
資本金	276億4,760万円
株式	東証プライム市場(1959年10月東京証券取引所に株式上場)
事業内容	油圧製品、システム製品の開発、製造、販売
従業員数	連結 12,951名 単独 4,473名 (2025年3月末)

国内拠点



国内関係会社

- ①タカコ
油圧機器
ソレノイドポンプ 世界シェアNo.1
- ②カヤバCS
システム装置のカスタマーサービス
舞台装置
- ③カヤバモーターサイクルサスペンション
二輪車用油圧緩衝器
合併効果による
国内外の幅広いお客様への展開
- ④金山カヤバ
四輪車用油圧機器
CVTポンプの生産における
グローバルマザー工場
- ⑤長岡カヤバ
データ通信機器・車載機器
電子技術によるカヤバグループの
モノづくり力強化
- ⑥知多鋼業
線ばね・薄板ばね・パイプ成形加工品
アフターマーケット領域の強化

グローバルネットワーク

- ★ 統轄会社
- 生産拠点
- 販売拠点/その他サービス



26 生産拠点 ・ 22 販売拠点 / その他サービス



油圧技術

- 液体(作動油・潤滑油)を媒体とし、エネルギーの**吸収**、**伝達**を行う技術
- パスカルの原理を応用して力を調整する

コア技術

振動制御

油圧機構により減衰力(抵抗力)を発生し
振動を適度に**吸収**する

パワー制御

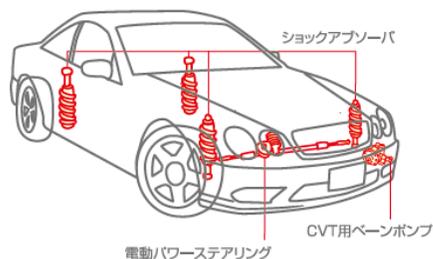
- 油圧システムにより
適切な力を各機器へ**伝達**する
- 大きな力を生み出すことも可能

振動制御とパワー制御を強みに事業を展開

振動制御

AC事業製品 (Automotive Components)

自動車



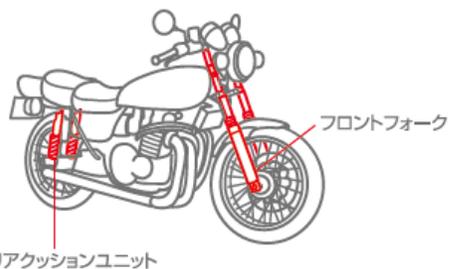
ショックアブソーバ



CVT用ベーンポンプ

パワー制御

二輪車

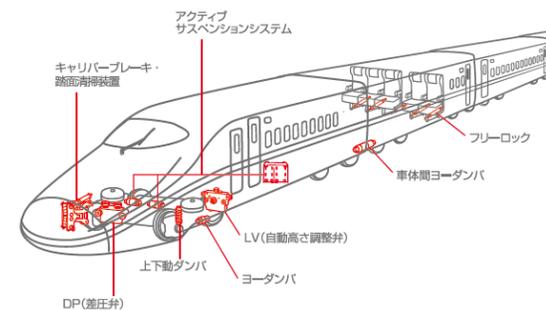


フロントフォーク



リアクッションユニット

鉄道



アクティブサスペンションシステム



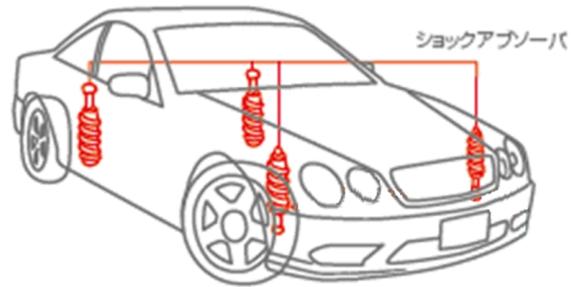
キャリパーブレーキ・踏面清掃装置

パワー制御

振動制御

油圧機構により減衰力(抵抗力)を発生し、振動を適度に**吸収**する

代表的な例は、自動車用ショックアブソーバ

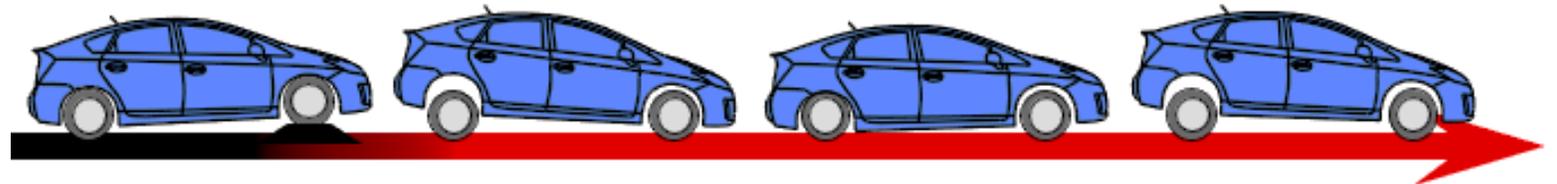


振動

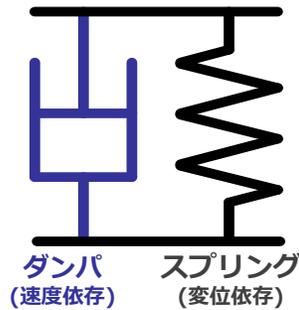
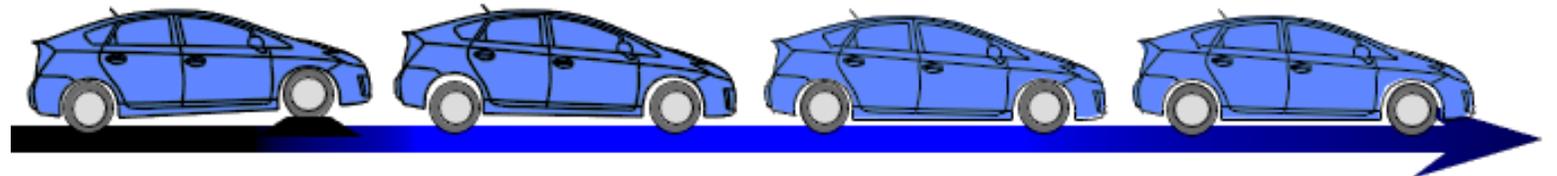
ショックアブソーバ

抑制

ショックアブソーバの減衰力がないと・・・揺れがいつまでも収まらない



ショックアブソーバの減衰力があると・・・揺れがすぐに収まる

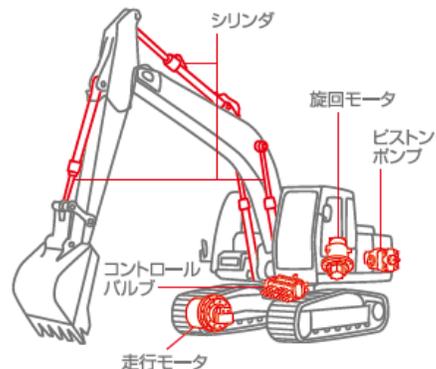


- ✓ 重量面 / 搭載性 / コスト面より、当面は油圧機構が主流
- ✓ 軽量化 / 環境対応ニーズが強まり、材料置換を含む対応要

パワー制御

HC事業・その他製品 (HC Hydraulic Components, Others)

建設機械



コントロールバルブ



走行モータ



ピストンポンプ



油圧シリンダ

船舶



海中投入機器
揚収装置

艦内油圧
供給ユニット



艦のステルス形状に合わせた開閉式扉

特装車両



電子制御ミキサ車



電子制御ミキサ車
「eミキサ」

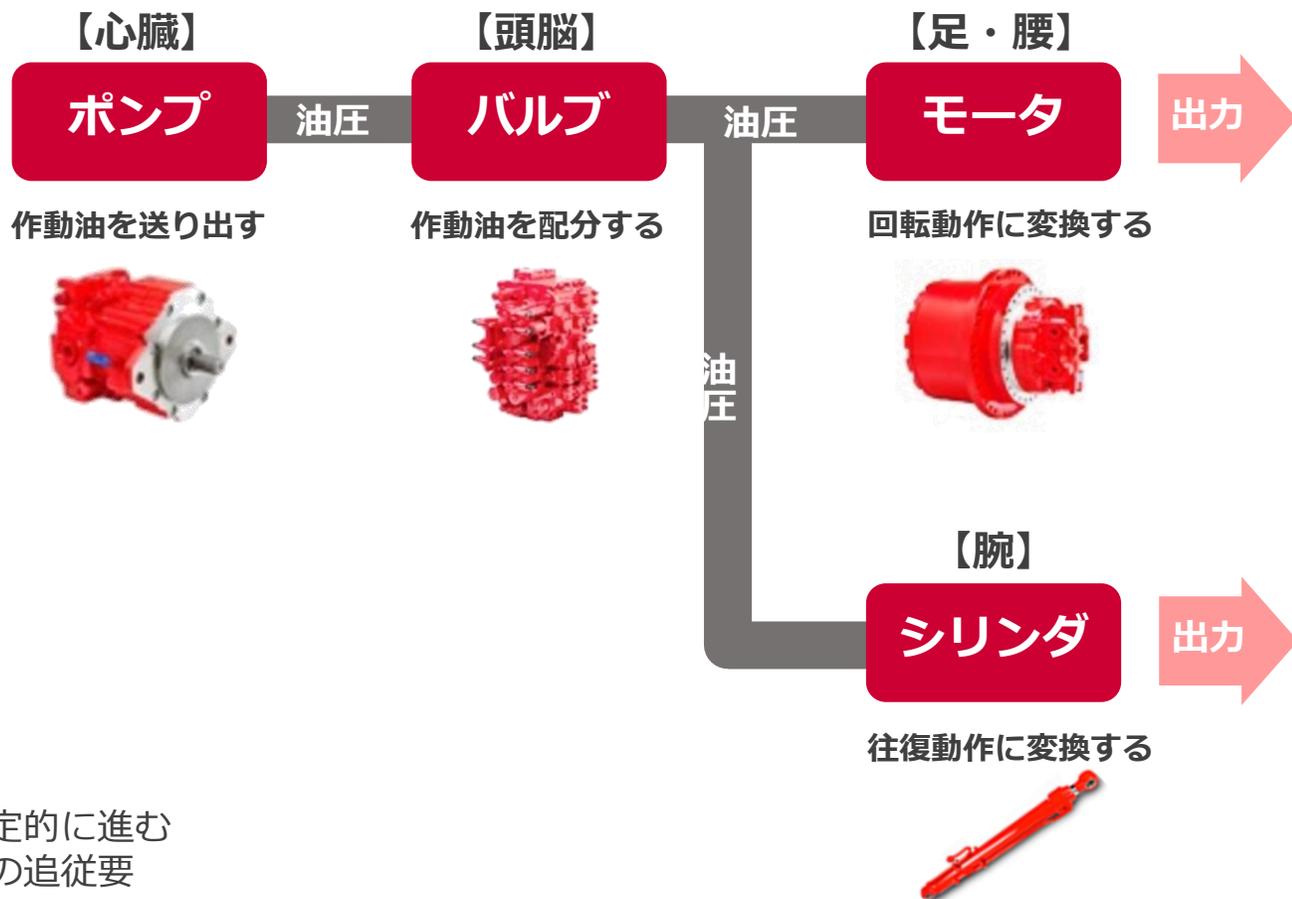
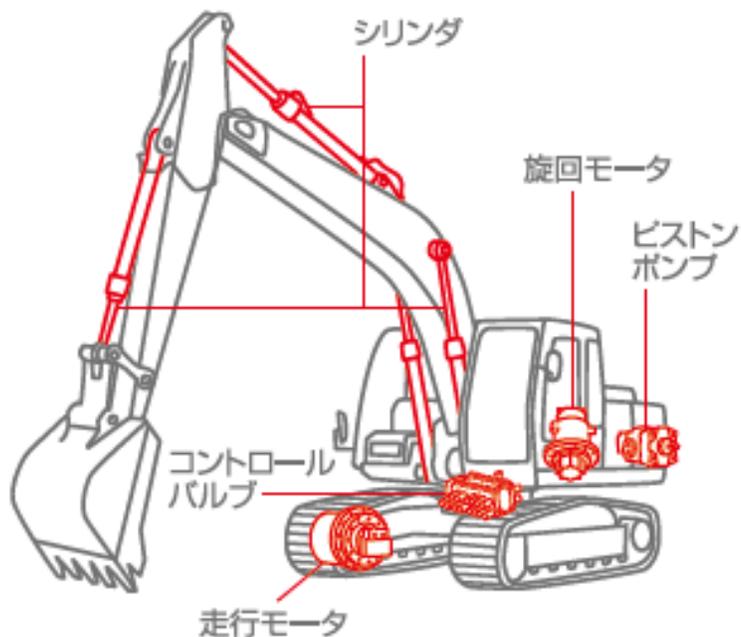


傾胴型混合機
「ドラムミキサ」

コンクリートミキサー車

パワー制御

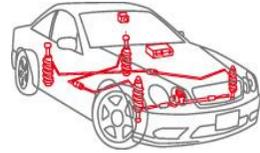
- ・油圧システムにより適切な力を各機器へ**伝達**する
- ・大きな力を生み出すことも可能



- ✓ 出力レベル / 効率面により動力源の電動化から限定的に進む
- ✓ 自動化 / 遠隔操作ニーズが強まり、電子制御化への追従要

自動車向け (AC)

【国内完成車】
 トヨタ自動車
 日産自動車
 スバル
 本田技研工業
 スズキ
 いすゞ自動車
 三菱自動車
 日野自動車
 ダイハツ工業
 マツダ

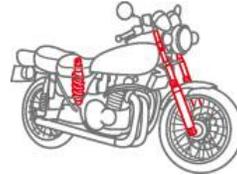


【海外完成車】
 ステランティス
 ルノー
 フォルクスワーゲン
 メルセデス・ベンツ
 BMW
 ゼネラルモーターズ

【自動車部品】
 ジヤトコ
 アイシン

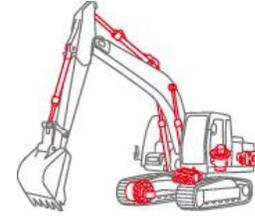
二輪車向け (AC)

ヤマハ発動機
 スズキ
 川崎重工業
 ホンダ
 TVS
 HERO
 ポラリス

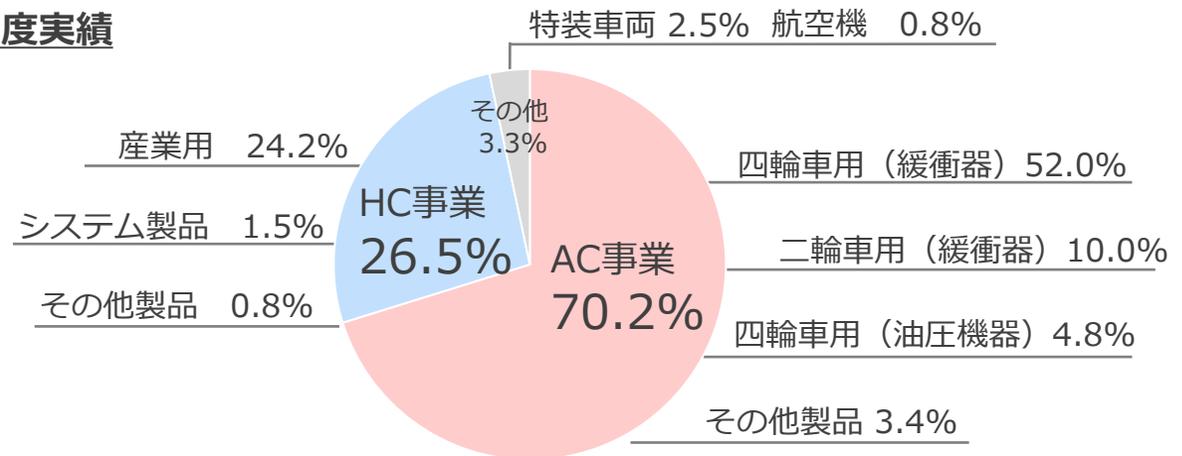


建機・産業車両・農業機械向け (HC)

日立建機
 キャタピラー
 住友建機
 クボタ
 コベルコ建機
 竹内製作所
 ボンフィグリオーリ
 ヤンマー建機
 斗山ジャパン、三一重工、山河

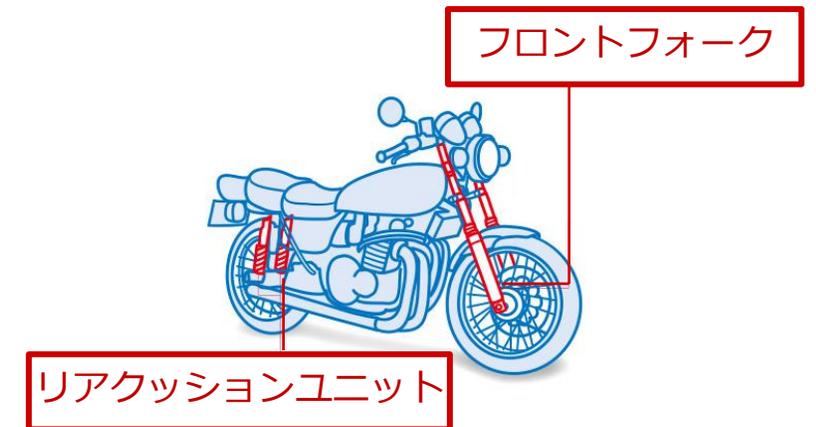
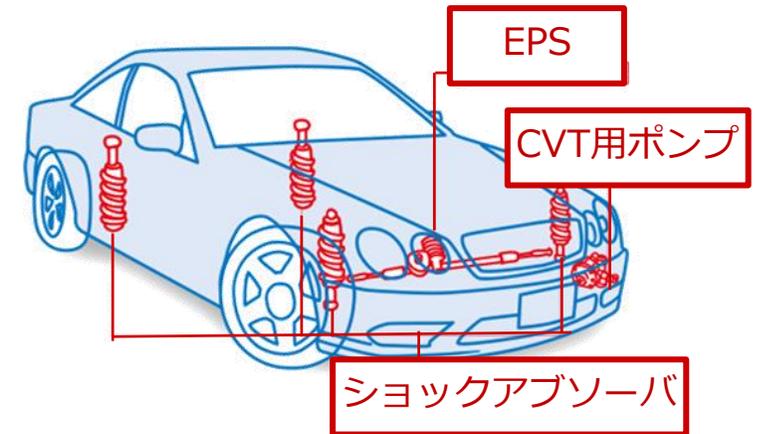


24年度実績



24年度実績

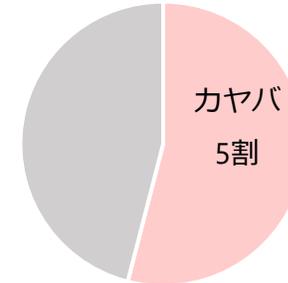
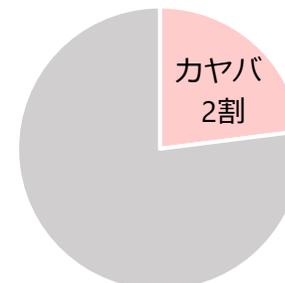
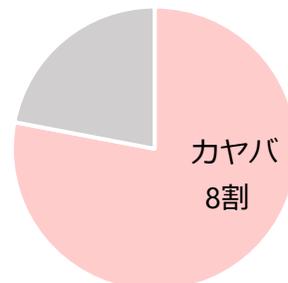
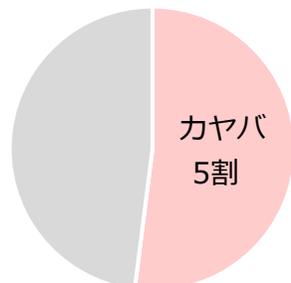
セグメント	製品	売上比率	
四輪車用緩衝器	OEM（新車用） / 純正補用	62%	74%
	市販用	38%	
二輪車用緩衝器	フロントフォーク / リアクッションユニット	—	14%
四輪車用油圧機器 （ステアリング製品）	油圧ポンプ&ギア	30%	7%
	電動パワーステアリング （EPS）	20%	
	CVT（無段変速機）用ポンプ	50%	
その他緩衝器	ATV用機器、 ステアダンパ、鉄道機器 他	—	5%



24年度実績

	得意先	売上比率	主な製品			
			四輪車用 緩衝器	二輪車用 緩衝器	四輪車用 油圧機器	CVT用 ポンプ
1	トヨタ自動車	15.8%	✓			
2	ヤマハ発動機	7.8%		✓		
3	日産自動車	4.9%	✓		✓	
4	ステランティス	4.1%	✓			
5	本田技研工業	3.9%	✓	✓		✓
6	ジヤトコ	3.4%				✓
7	VW	3.1%	✓			
8	スズキ	2.6%	✓	✓	✓	
9	ルノー	2.5%	✓			
10	いすゞ自動車	1.4%	✓			
-	その他	50.5%				

顧客内シェア



トヨタ自動車

ヤマハ発動機

ステランティス

ルノー

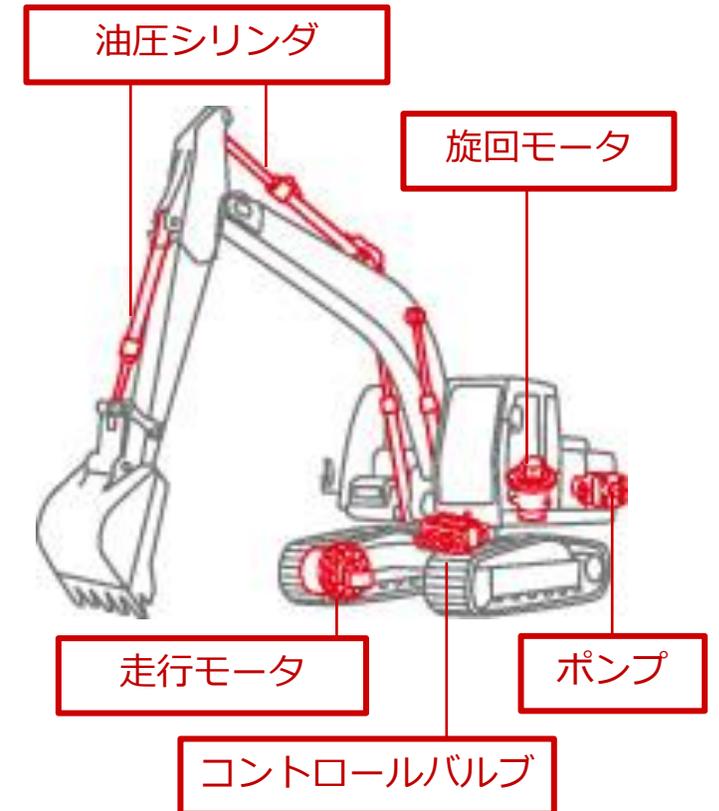
24年度実績

マーケットシェア	国内	グローバル
ショックアブソーバ (OEM)	38%	12%
ショックアブソーバ (市販)	—	16%
ショックアブソーバ (二輪)	—	14%

競合	国内	グローバル
ショックアブソーバ (OEM)	Astemo	Astemo, Sachs (ZF), Tenneco, Mando
ショックアブソーバ (市販)	Tein	Monroe (Tenneco), Sachs (ZF)
ショックアブソーバ (二輪)	Astemo	Ohlins
ステアリング製品	JTEKT, NSK, Astemo	Mando, ZF, Nexteer

24年度実績

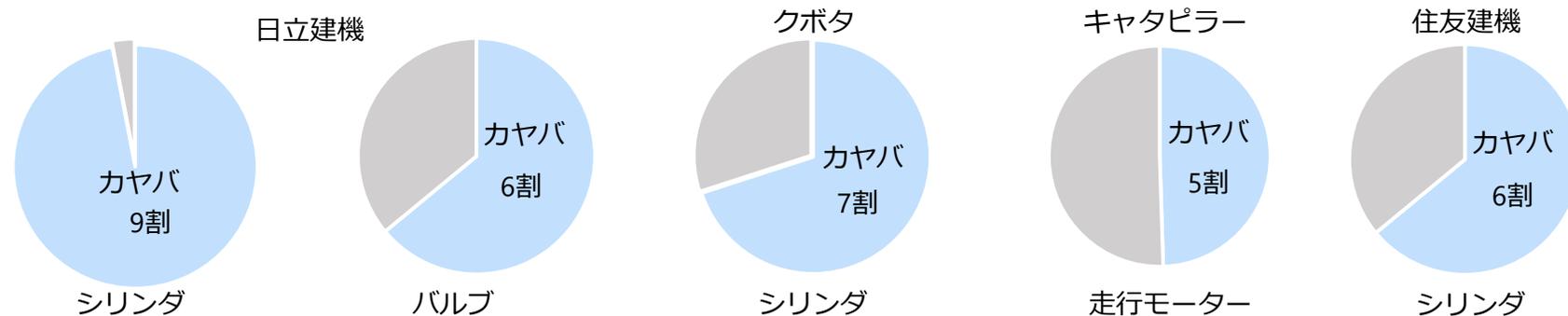
セグメント	製品	売上比率
産業用建設機械、 フォークリフト、 農業機械向け	油圧シリンダ	34%
	走行モータ	24%
	旋回モータ	3%
	コントロールバルブ	19%
	ポンプ（ギヤポンプ）	3%
	その他	9%
システム製品	舞台機構、艦艇機器 他	5%
その他	その他	3%



24年度実績

	得意先	売上比率	主な製品			
			シリンダ	モーター	コントロールバルブ	ポンプ
1	日立建機	22.6%	✓	✓	✓	
2	クボタ	11.6%	✓	✓	✓	✓
3	キャタピラー	7.9%	✓	✓		
4	住友建機	6.6%	✓	✓	✓	
5	コベルコ建機	5.3%	✓	✓	✓	
6	竹内製作所	4.0%	✓	✓	✓	✓
7	ヤンマー建機	2.4%	✓	✓	✓	✓
8	ボンフィグリオール (旧トランスミタル)	1.7%		✓		
9	コマツ	1.6%	✓	✓	✓	✓
10	ボッシュ	1.5%		✓		✓
-	その他	33.3%				

顧客内シェア



24年度実績

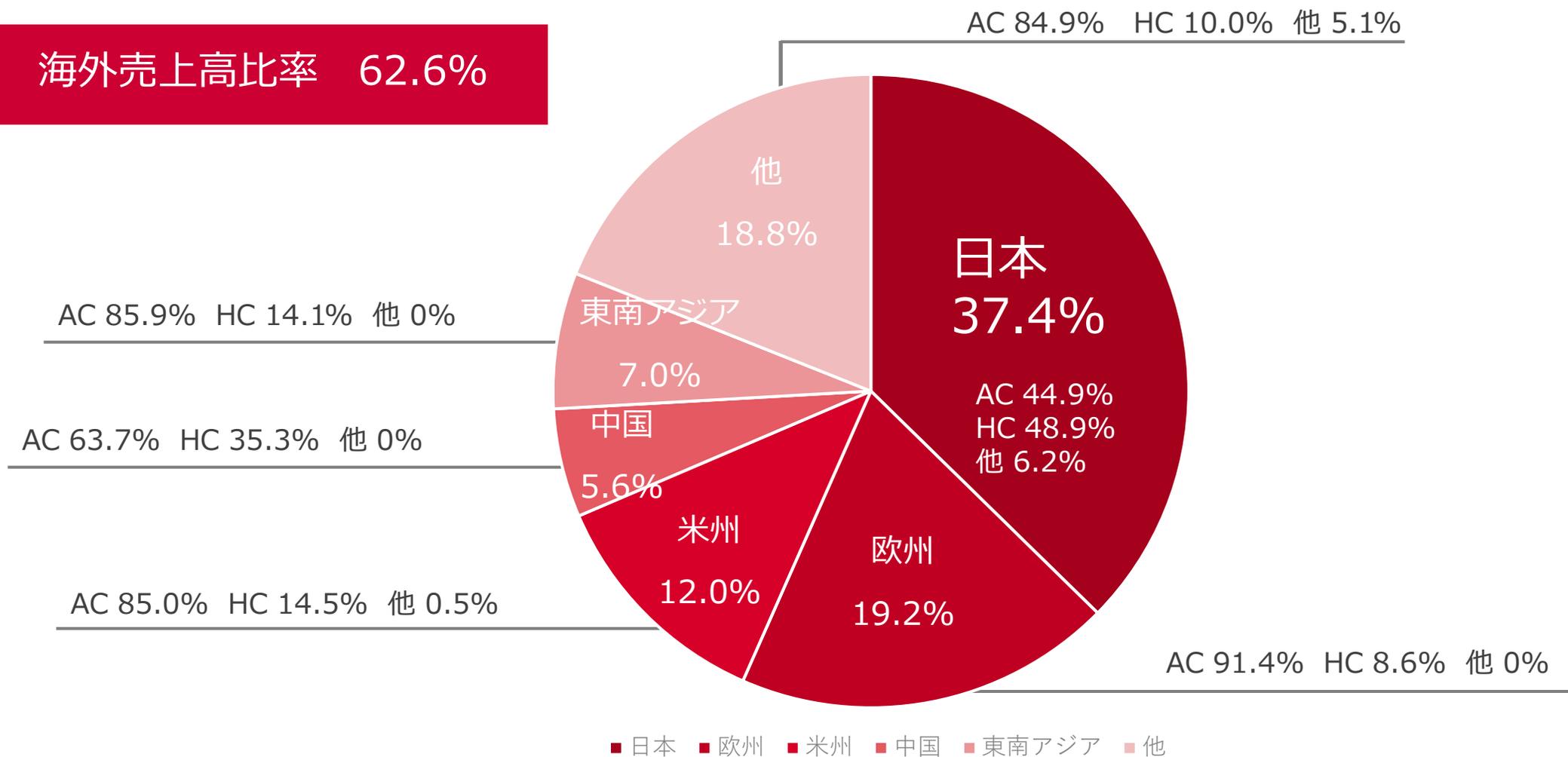
マーケットシェア	グローバル		国内
	ミニショベル	中型ショベル	フォークリフト
シリンダ	26%	19%	42%
走行モータ	26%	16%	—
旋回モータ	13%	—	—
コントロールバルブ	31%	19%	6%
ポンプ（ギヤポンプ）	21%	—	22%

競合	
シリンダ	DongYang Mechatronics（東洋機電）, Jiangsu Hengli High pressure（江蘇恒立）
走行モータ	ナブテスコ, NACHI, Doosan-Mottrol
旋回モータ	NACHI, 川崎重工
コントロールバルブ	ナブテスコ、川崎重工
ポンプ（ギヤポンプ）	NACHI, 島津

地域別売上構成

24年度実績

海外売上高比率 62.6%



ニーズ

電動化により重視される
安全性・快適性

乗り味

乗心地・
安定性向上

静粛性

ノイズ抑制



成長戦略

コア技術と電子制御システムを融合し、
自動運転・EV時代の安全・快適性能を追求

アクティブサスペンションシステム

フル/セミアクティブサスペンションシステム
安全性能の追求・究極のフラットライド

次世代ハイブリッドサスペンションシステム

次世代車高調整+サスペンションシステム
空力性能向上(電力・燃料消費低減)
昇降性向上

自動車用
電子制御サス



車高調整サス



電子制御

Sens



Think



Act



ニーズ

産業機械の高度化・電動化に合わせた
遠隔操作・自動運転・高効率化への対応

操作性

マッチング度・
操縦性向上

静粛性

ノイズ抑制



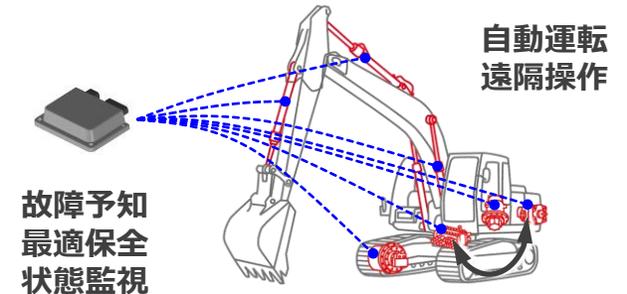
成長戦略

油圧機構部品の全てを開発・生産するため
電子制御と最適システムの提案が可能

ECU
+
油圧機器

連動制御

情報システム



油漏れ検知センサ

油状態監視センサ



電子制御・油圧システム

Sens

Think

Act

PUMP

VALVE



防衛ビジネスの拡大（HC事業）

◆システム製品およびカスタマーサービス事業の拡大・・・海に、陸に、価値あるシステムで貢献

「海上分野」

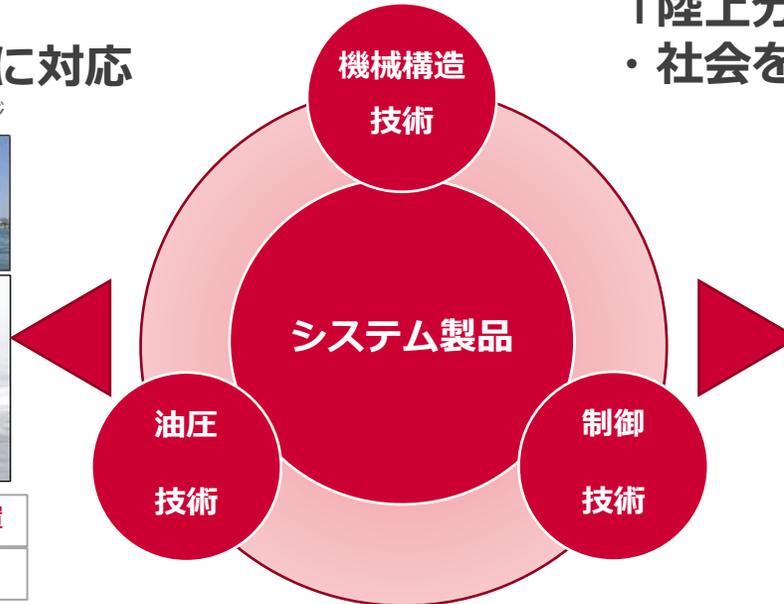
・災害派遣/海洋開発等ニーズの多様化に対応

出典：海上自衛隊ホームページ



「陸上分野」

・社会を支える様々なインフラの整備に対応

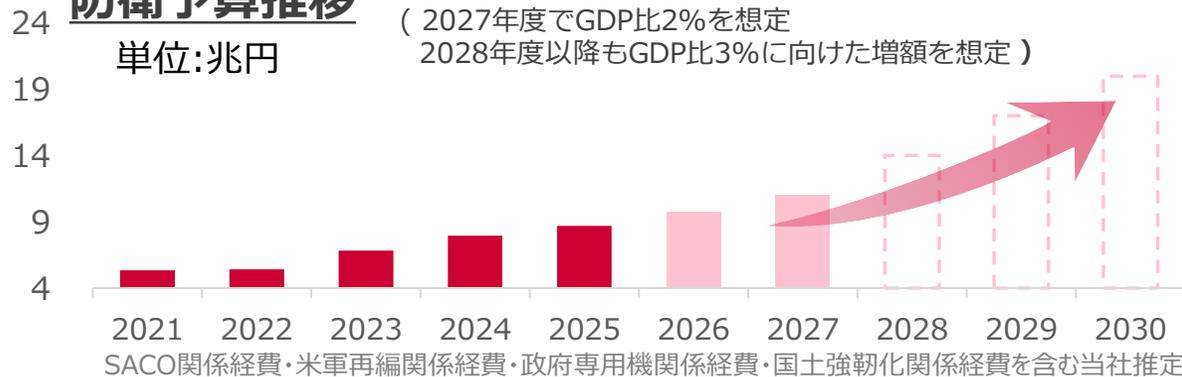


- 特殊車両
- 支援器材
- 陸上設備
- 付帯施設
- 維持整備

パワー制御技術をコアとした
自動化・省人化システム

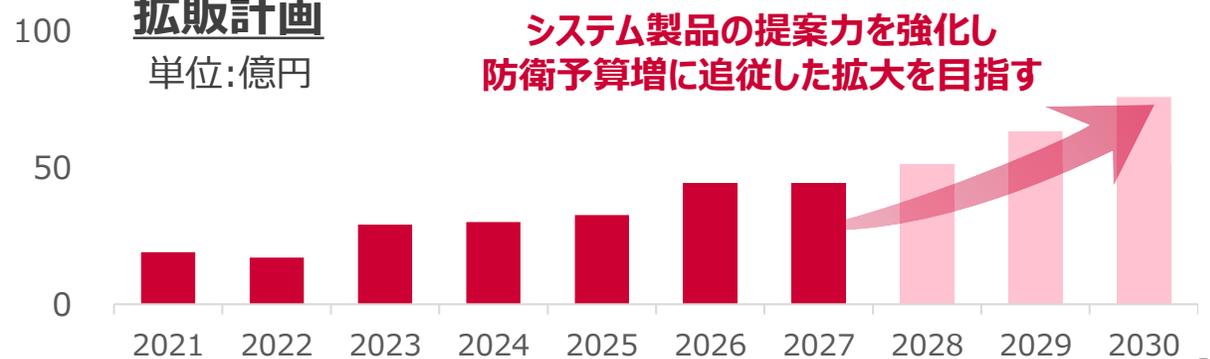
防衛予算推移

・2023年度より大幅増
(2027年度でGDP比2%を想定
2028年度以降もGDP比3%に向けた増額を想定)



拡販計画

システム製品の提案力を強化し
防衛予算増に追従した拡大を目指す



ニーズ

EV対応・軽量化・安全性・積載量増加
⇒使い勝手の向上

操作性

フルオーダーメイドで
1台ずつカスタマイズ

静粛性

騒音配慮



成長戦略

国内シェア85%のトップシェアを活かし、
「真のダントツミキサメーカー」を目指す

- ・低騒音・低燃費の
環境配慮型コンクリートミキサ車最新モデル
「eミキサⅢ」の販売
- ・充実したアフターサービス

新事業への挑戦

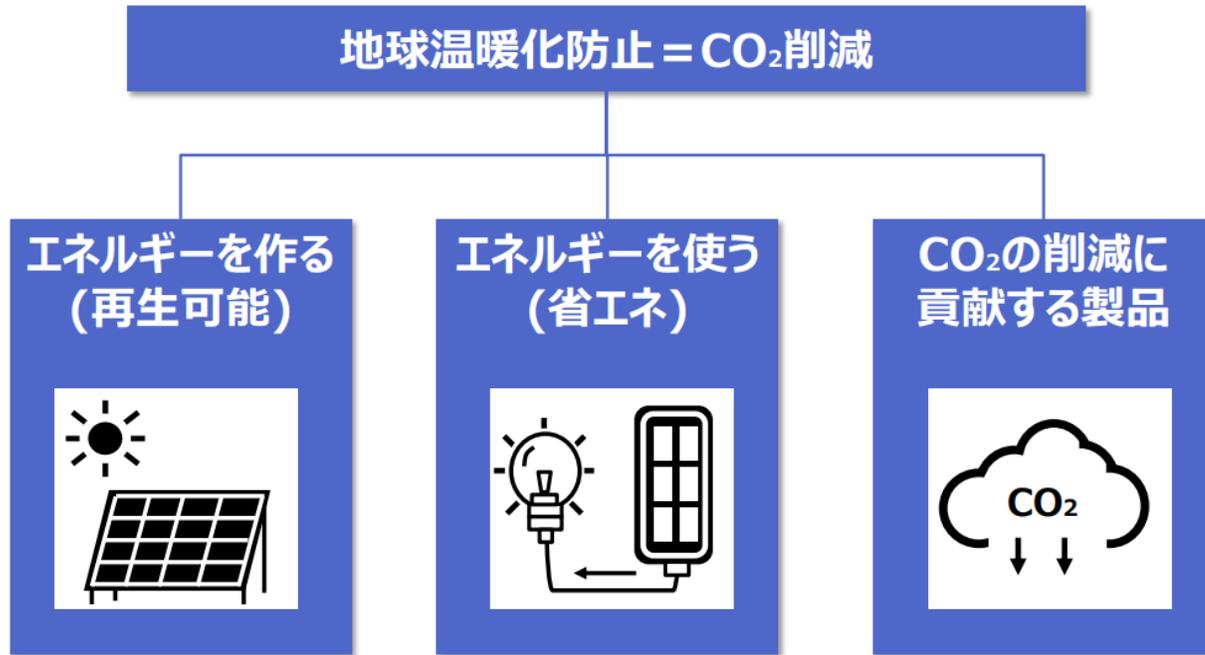
キャンピングカー「VILLATOR」販売開始

足回りの技術力を強みに、
従来のキャンピングカーでは
難しかった「走っても楽しい」
という新たな価値観を実現。



サステナビリティへの取り組み ①

2050年カーボンニュートラル達成に向けた取り組み



CO₂削減目標
2030年排出量：カヤバグループ 138,578tCO₂ (2018年度比50%削減)
2050年 カーボンニュートラル

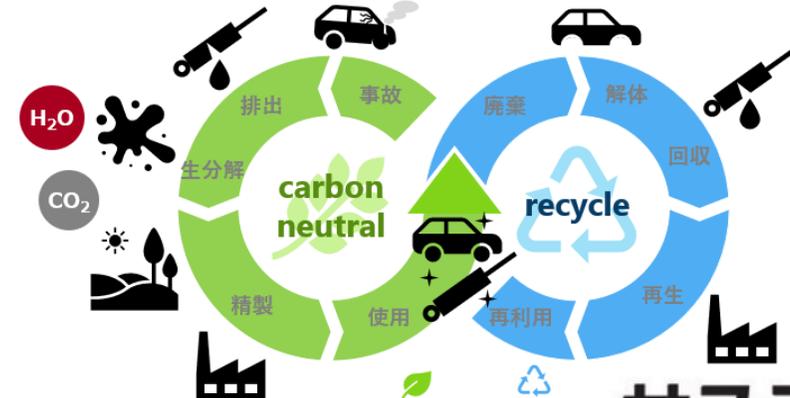
各種取り組みにより、
持続可能なモビリティ社会の実現に貢献

CO₂削減に貢献する製品

剪定枝の粉砕処理車：タウンビーバー



環境作動油：サステナルブ®

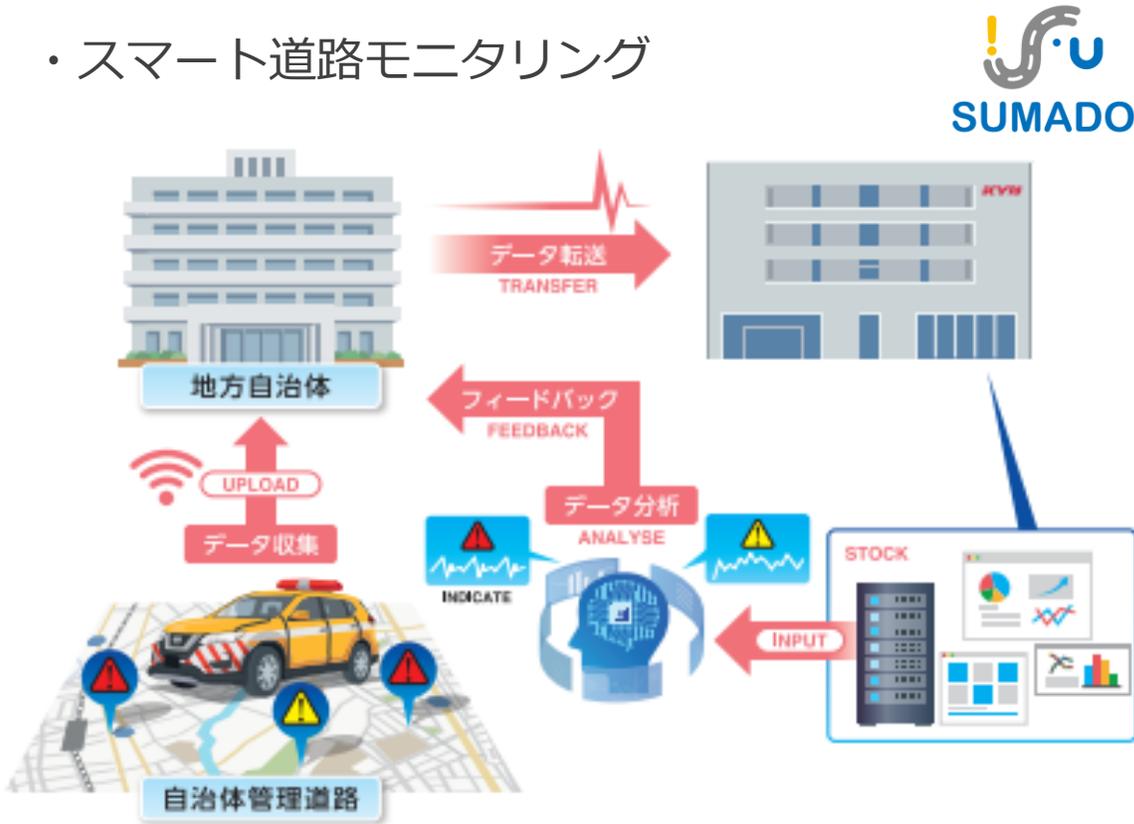


サステナルブ®

サステナビリティへの取り組み ②

カヤバの技術で社会に貢献

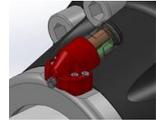
- ・スマート道路モニタリング



- ・油状態監視システム／油漏れ検知システム



油状態監視センサ



油漏れ検知センサ

各種取り組みに対する外部評価



- ・ CDP（2024年度気候変動・水セキュリティB評価）
- ・ 「えるぼし」企業認定取得
- ・ サステナビリティインデックス構成銘柄に指定（2025年度）
- ・ 健康経営優良法人認定取得（2025年度）



Our Precision, Your Advantage

2025年度第1四半期 決算概要

(単位：億円)	IFRS		(前年同期比)
	2024年度 第1四半期 実績	2025年度 第1四半期 実績	
売上高	1,087	1,139	+52
セグメント利益 (※) (セグメント利益率)	44 (4.1%)	61 (5.3%)	+17 (+1.3%)
営業利益 (営業利益率)	61 (5.6%)	134 (11.7%)	+73 (+6.1%)
親会社の所有者に帰属する 当期利益	39	121	+82
為替レート (平均レート)			
円 / US\$	155.89円	144.60円	
円 / EUR	167.88円	163.80円	

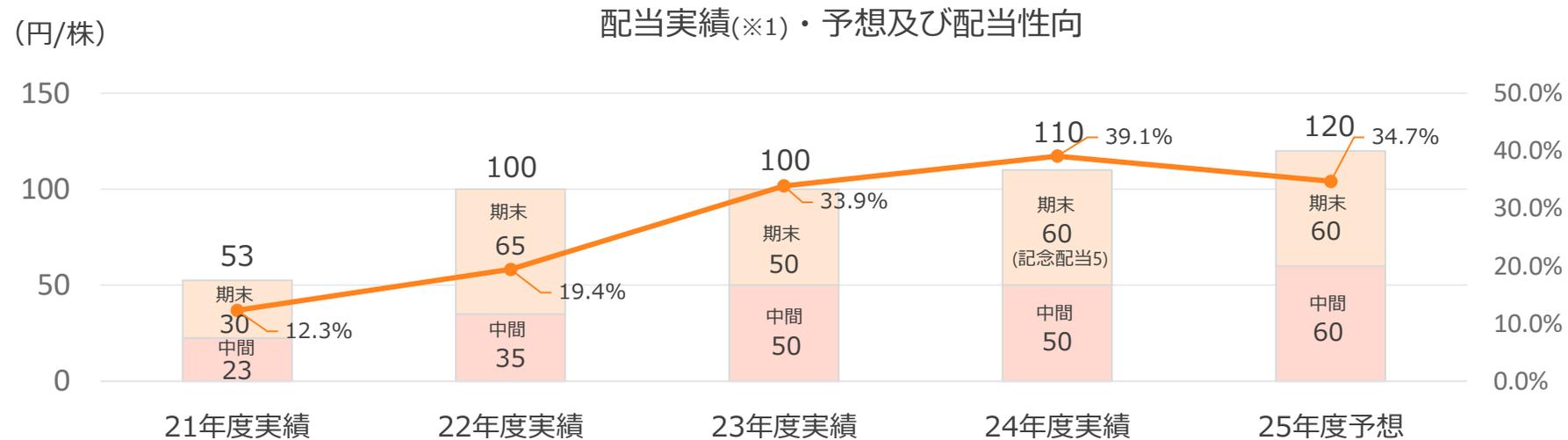
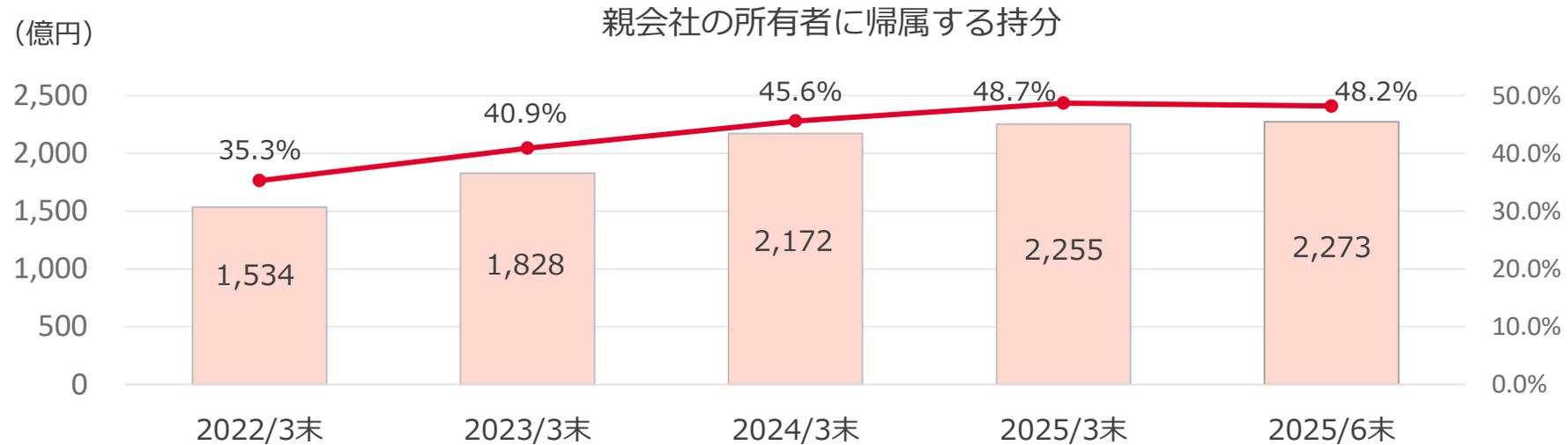
(※) 日本基準の営業利益に相当

(単位：億円)	IFRS		(前年比)
	2024年度 実績	2025年度 見通し	
売上高	4,383	4,400	+17
セグメント利益 ※1 (セグメント利益率)	198 (4.5%)	150 (3.4%)	△48
営業利益	227	225	△2
親会社の所有者に帰属する 当期利益	149	175	+26
1株当たり配当 ※2 (株式分割考慮後)	110円 (記念配当5円)	120円	+10円
為替レート (平均レート)			
円 / US\$	152.57円	137.40円	
円 / EUR	163.73円	157.20円	

※1) 日本基準の営業利益に相当

※2) 配当 (株式分割考慮後) は、2024年12月3日の株式分割 (2分割) を踏まえ、調整 (分割前配当×1/2) した金額を記載

自己資本と配当の推移



(※1) 配当 (株式分割考慮後) は、2024年12月3日の株式分割 (2分割) を踏まえ、21年度に遡り調整 (分割前配当×1/2) した金額を記載



Our Precision, Your Advantage

カヤバ株式会社

ご注意事項

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、外部環境及び内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となる場合があることをご承知おき下さい。

お問い合わせ・取材お申し込み先
エグゼクティブオフィス部広報IR室
TEL:03-3435-3580 E-mail: kyb-ir@kyb.co.jp